

当院での予防接種やアレルギー検査の痛み緩和 外用局所麻酔剤(エムラ)の紹介

二星こどもクリニック

痛みを緩和する大切さ

「痛み」は心に残るつらい出来事

お子さまにとって「痛み」を受けることは、やはり大きなストレスです。この体験は、医療への不信感につながったり、お子さまの成長の中で経験する痛みへの恐怖や、どう対応したらいいかわからなくなることにつながることもあるみたいです。

私も、針で刺すなど、痛みが生じることが分かっている処置をするときは、時間的余裕があれば、お子さまに優しく対応することが大切だと考えています。

局所麻酔薬による疼痛コントロール

「痛み」の刺激への薬物療法を用いた取り組み

局所麻酔薬は、針を刺す部分など、痛みを感じる神経に作用して痛みを軽減する薬です。レーザー治療にも使われます。当院では、希望の方に局所麻酔薬をお渡ししています。本院ではリドカイン・プロピトカイン配合剤のエムラクリーム・パッチ[®]を使用します。用法用量について保護者様が医師・看護師の説明をよく理解した上で投与していただきます。ただし、医師が安全性を考慮して処方しない場合もあります。処方される薬剤は、体重に合わせた投与量と方法を守っていただきます。

当院の局所麻酔使用希望の方の流れ

自費診療として薬剤を使用するため、必ず事前の予約と説明をご理解いただく実施しております。

予約は「局所麻酔説明予約」がweb予約にありますのでご予約をお願いします。

薬で「痛み」を和らげても「怖い」は止まらない。だからこそ専門職のお子様との関わりがあります

大人でも「痛み」と「恐怖」って感じ方って人それぞれですね。他の人の話を聞いたり、自分の経験からそう思います。これを「痛みの認知」っていうんですけど、「痛みをどう捉えるか」ってのは人それぞれなんです。だから「痛みは主観」っていう言葉があるんですね。主観だから仕方ないってわけじゃなくて、痛みへの恐怖を乗り越える力を子ども自身が持てるように、そして周りの大人が支えられるようにすることで、「恐怖」から「不快な体験だけど、対応できる」って感じに変えていけたらいいなと思ってます。痛みへの対応を受ける機会を大切に考えて、関わっています。

どんなに薬で感覚が鈍くなくても、怖いと痛く感じて、辛い体験になることもあるかもしれません。でも、薬と一緒に専門職が関わりサポートします。子ども自身がその経験を通して、他の人も含めて、苦痛がある人へ、人として関わる大切さを学べる機会になってくれたら嬉しいなと思って取り組んでいます。



局所麻酔使用の 意向のための Web予約

- 使用方法の説明と処方を受ける日をWeb予約をとってください



処方と説明

- 穿刺部位の説明します。
- 使用上の注意点について説明します



家庭内での実施

予約時間 60分前に
薬剤を塗布もしくは貼用



予約時間来院

- 来院、塗布経過時間の確認とお子さまの様子の確認

*重要:局所麻酔について

- 局所麻酔薬として本院ではリドカイン・プロピトカイン配合剤のエムラクリーム・エムラパッチを用います。効能・効果・用法用量・副作用を記載しております。保護者様ご自身でよく読みいただき、ご理解とご納得をいただいた上でのご予約・利用いただきますことよろしくお願い申し上げます。なお不明点はお質問ください。(電話での問い合わせは平日(火曜日除く)の11:00 11:30、17:45 18:15)にお願いします。

効能・効果

静脈留置針穿刺時の疼痛の緩和

注射針穿刺時の疼痛の緩和

皮膚レーザー照射療法時の疼痛の緩和

注意すべき副作用

潮紅、蒼白、錯感覚、紅斑、皮膚硬結、皮膚そう痒症、ALT増加、ショック、アナフィラキシー、不快感

用法・用量(主なもの)

〈成人〉通常、成人には、レーザー照射予定部位又は注射針・静脈留置針穿刺予定部位に10cm²あたり本剤1gを、密封法(ODT)により60分間塗布する

なお、1回あたりの塗布量は10gまでとし、塗布時間は120分を超えないこと

〈小児〉通常、小児等には、レーザー照射予定部位又は注射針・静脈留置針穿刺予定部位に10cm²あたり本剤1gを、密封法(ODT)により60分間塗布する

なお、1回あたりの塗布量及び塗布時間は次を超えないこと

1). 0~2ヶ月:最大塗布量1g、最大塗布時間60分

2). 3~11ヶ月(体重5kg以下):最大塗布量1g、最大塗布時間60分

3). 3~11ヶ月(体重5kg超):最大塗布量2g、最大塗布時間60分

4). 1~14歳(体重5kg以下):最大塗布量1g、最大塗布時間60分

5). 1~14歳(体重5kg超10kg以下):最大塗布量2g、最大塗布時間120分

6). 1~14歳(体重10kg超):最大塗布量10g、最大塗布時間120分

(用法及び用量に関連する注意)7.1. 本剤を60分間(最大120分間、ただし、0~11ヶ月、又は1~14歳で体重5kg以下の場合は最大60分間)ODTにより塗布後、本剤を除去し、直ちにレーザー照射又は注射針・静脈留置針穿刺を行う

7.2. 小児等における本剤の塗布量は、体重、患部の大きさを考慮し、必要最小限にとどめること(また、塗布時間を遵守すること)(9.7.1、9.7.2、17.1.2参照)

主な副作用

潮紅、蒼白、錯感覚、紅斑、皮膚硬結、皮膚そう痒症、ALT増加、浮腫、浮動性めまい、感覚鈍麻、頭痛

重大な副作用

ショック、アナフィラキシー、不快感、口内異常感、喘鳴、眩暈、便意、耳鳴、発汗、全身潮紅、呼吸困難、血管性浮腫、顔面浮腫、喉頭浮腫、血圧低下、顔面蒼白、脈拍異常、意識障害、振戦、痙攣、中毒症状、メトヘモグロビン血症、チアノーゼ

- 予防接種の予約に遅れる場合は必ず時間までに電話をしてスタッフに対応方法を確認してください
- 説明した投与量や方法は必ず守り、保護者様のご判断での量の変更や時間の変更は行わないようよろしくお願いします。